

平成28年度施策評価調書

整理番号	9
評価担当課	老人ホーム しらかばハイツ
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	施設整備の推進(2-5-4)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	5	高齢者福祉の充実

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設として早急に改修事業が必要不可欠です。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	施設の運営上、施設利用者に対するサービス提供を低下させないように施設を随時修繕しながら対応している。
施策の課題	しらかばハイツは昭和63年4月開設以来、大規模な改修はしておらず27年が経過し、老朽化が進んでいるため、当初新設規模での計画を希望していたが、財政との協議により減価償却期間は改築は行わず改修対応する方向になったため、想定される主な整備事項として、外壁塗装工事・屋上防水工事・浴室改修工事・各居室廊下改修等の各種施設整備が必要不可欠です。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H25	H26	H27	目標年度(年度)
ナースコール更新事業	更新した台数	目標値	90			
		実績値	90			
		進捗率	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	
居室用ベッド更新事業	更新した台数	目標値	15	15	15	15
		実績値	15	15	15	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	施設利用者に対する生活改善と快適な生活と安全・安心の提供ができています。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

しらかば Heights は昭和63年4月開設以来、大規模な改修はしておらず27年が経過し、老朽化が進んでいるため、施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設には大規模改修事業が必要不可欠です。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H27年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H27決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	しらかば Heights 改修事業	H25: ナースコール一式 H28: 西棟ボイラー更新	0	a	a	a	b	a	A	A	A
2	しらかば Heights 居室用ベッド更新事業	介護用ベッドの更新 内訳: 入所者用 80台、短期10台、静養室1台	5,675	a	a	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	9	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	老人ホームしらかばハイツ		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	しらかばハイツ改修事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	5	高齢者福祉の充実
		基本事業	4	施設整備の推進
		実施計画事業	4	特別養護老人ホームの整備改修

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	高齢者が住みなれた地域で継続した生活が営まれるよう適切な在宅サービスを推進する。在宅での生活が困難となった方が安心して生活できるよう施設整備を推進します。			
対象(何を又は誰を)	施設利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	施設利用者に対するサービス提供を低下させないように施設を随時修繕しながら対応する。			
意図(どのような成果を期待しているか)	施設利用者に対する快適な生活と安心の提供。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	20 年度	終期設定	有 (終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 ナースコール更新事業	床	目標	90				
			実績	90				
	2 ボイラー設備更新事業	基	目標				1	
			実績				1	
	3		目標					
			実績					
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	12,789	0	0	4,000	H27年度は実績無し。
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	12,789			4,000	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	12,789	0	0	4,000	
対前年比(%)	—	0	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	しらかばハイツは昭和63年4月開設し、平成4年増築に伴い西棟にボイラーを新設したが、23年が経過し老朽化が進んでいるため、ボイラーが故障した場合西側の暖房対応が必要となり、施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設として早急に改修事業が必要不可欠です。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設整備は当然である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	施設入所者の生活改善が優先される。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがはないか？	b	施設の運営上、施設利用者に対するサービス提供を低下させないように施設を随時修繕しながら対応している。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	利用者に対するサービス提供を低下させないように随時修繕しながら対応し、有効に進められている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	施設の運営上、施設利用者に対するサービス提供を低下させないよう、安全・安心な環境を求め随時施設の改修を進めている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成28年度事務事業評価調査

整理番号	9	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	老人ホームしらかばハイツ		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	「しらかばハイツ」居室用ベッド更新事業			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	5	高齢者福祉の充実
		基本事業	4	施設整備の推進
		実施計画事業	4	特別養護老人ホームの整備改修

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	高齢者が住みなれた地域で継続した生活が営まれるよう適切な在宅サービスを推進する。在宅での生活が困難となった方が安心して生活できるよう施設整備を推進します。			
対象(何を又は誰を)	施設利用者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	最新の介護用ベッドの更新 内訳:入所者用 80台、短期 10台、静養室 1台			
意図(どのような成果を期待しているか)	施設入所者の生活改善のため			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()			
事業実施期間	始期	24年度	終期設定	有 (終期 29年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H25	H26	H27	H28見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 居室用ベッドの更新 更新台数 91台、H24 11台済み	台	目標	15	15	15	15	20
			実績	15	15	15	15	20
	2	目標						
		実績						
成果指標	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	平成27年度の事業費内訳
事業費	5,250	4,864	5,675	5,414	しらかばハイツ居室用ベッド 15台更新 5,674,320円
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	5,250	4,864	5,675	5,414	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,490	6,244	
担当職員数					
総事業費	5,250	4,864	5,675	5,414	
対前年比(%)	—	93	117	95	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H27及びH28年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	計画当初、毎年度10台を10年計画で整備する予定でしたが、入所者の安全性を確保することが重要であることから、平成24年度から平成29年度までの6か年で91台を更新した。
改善点	指摘事項 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設として最新の介護用ベッドの更新は必要不可欠です。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	施設利用者に対して快適な安心して暮らせる施設整備は当然である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	一括更新では、莫大な支出となるので、年次的更新はコスト削減より有効と考える。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	施設入所者の生活改善が優先される。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	有効に進められている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	施設入所者の生活改善を目的に、快適な安心して暮らせる環境を提供できている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり